


げんきっこ通信



組合員のみなさんこんにちは！託児リーダー部会です。生活クラブ生協大阪の託児の取り組みでは、昨年9月から制限付きで託児を再開（※委員の子どものみ1時間おやつなし）。小さい子どものいる委員の皆さんが安心して会議や企画に参加できるようにサポートしています。

昨年10月から今年1月にかけてエッコロ委員と共に託児リーダーが各支部を回り、ハグカフェ（地区委員向けのエッコロ共済・ハグくみと託児システムについての説明会）で子育て支援政策「とも育ち^{*}」の理念と新型コロナ感染防止対策を踏まえた託児について説明しました。子どもを安全に預かるために保護者に事前連絡を取り、健康チェックの結果を「子ども用チェックリスト」に記入して当日持参してもらっています。託児スタッフは、自宅での検温、マスク着用、手洗いや手指消毒、おもちゃ・備品・シートの消毒、部屋の換気など感染防止対策に留意しています。昨秋の託児の様子について託児リーダー部会で話し合い、2月からは参加者が会議や企画に集中できるよう託児時間を2時間にすることにしました。

1月、2月には託児リーダーとスタッフが共に活動する仲間として託児に対する思いを共有できるように、ブロック単位で「託児スタッフ交流会」を開催しました。ただ、香里ブロックでは会場が使用禁止となり、託児スタッフ通信を発行してブロック内の託児の様子を伝えました。

各ブロックの交流会の様子を以下にお知らせします。

平野ブロック 1/15（金）阿倍野区民センター（3名参加）

○託児リーダー部会で知っていることの共有○

託児依頼が発生した時、スタッフを探す。

安全に託児時を過ごすための注意事項、決め事をまとめる。/フェスタの企画について

○絵本の読み方の工夫○

子どもたちにしっかり「絵」を見せることが大事。

読み方は淡々と・・・無理に抑揚を付けなくても良い。

子どもたちが自分で絵本の世界に自由に入っていけるように…。

子どもの気持ちに寄り添い、見守ることの大切さの理解を深めました。

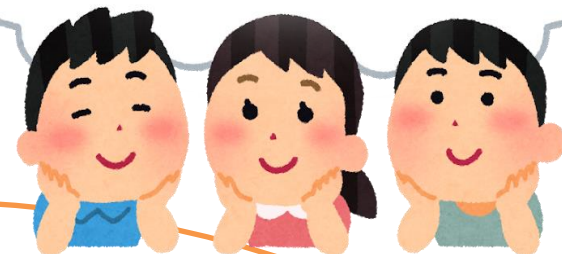
託児の時も一番にケガが無いように、と神経を使います。

※少ない人数でしたが、同じ空間で顔を見て話すことができ、託児スタッフ同士の繋がりが深まりました。



とも育ちとは…

「子どもも預ける組合員も託児スタッフも学び合い育ち合う」という生活クラブ生協大阪の子育て支援の理念です



千里ブロック 1/15（金）千里公民館（コラボ）（7名参加）

○新型コロナ対策説明、託児システム、とも育ちの話

○9月以降に実際に託児に入ったスタッフからの話と意見交換

○折り紙を使った作品作り（おやつBOX）など

○泣き続ける子どもへの対応○

1年間託児時に抱いても泣き続けていた子ども、会館の中を保護者探しの散歩をして過ごしました。最近は気になるおもちゃを提供すると、おもちゃで遊べるようになり、保護者との別れ時もスムーズに出来ました。

スタッフからの一言：コロナ禍に負けずに活動しています。コロナが収束したらまた一緒に活動しましょう。コロナが収束したら友人にスタッフ登録を勧めたいです。





豊能ブロック① 1/15 (金) 箕面市中央生涯学習センター (4名参加)

- とも育ち理念、託児システムの説明、新型コロナ対策
- 託児リーダーとスタッフの役割
- スタッフのおすすめ絵本の紹介、プロによる絵本の読み聞かせ実演と説明



豊能ブロック② 1/18 (月) 豊能支所 組合員ルーム (3名参加)

- とも育ち理念、託児システムの説明、新型コロナ対策
- 託児リーダーとスタッフの役割、託児現場の状況
- スタッフのおすすめ絵本の紹介、絵本読み聞かせのポイント

～絵本の読み聞かせは、親子で向き合えるコミュニケーションツール～

絵本には主食になる本とおやつのような本があります。

絵が鑑賞に堪え、普段ちゃんと使ってほしい言葉を使い、繰り返しのある単純なお話…を本選びのポイントに。最後にみんなでご飯を食べるシーンは安心感があります。迷った時には図書館で司書が選んでいるコーナーの本がおすすめ。



茨木ブロック 1/21 (木) 茨木クリエイティブセンター (9名参加)

- 託児活動における基本的な注意事項、託児に対する心構え・意識など
- 新型コロナ対策 (9月以降に実際に託児に入った様子も踏まえて共有)
- 託児に関する想いや疑問点について相談・共有



コロナ禍で実際に託児に入っているスタッフを中心に集まり、託児活動での実際の疑問や悩みを話し合ったり、託児現場の新型コロナ対策について共有したりしました。

託児活動に興味を持つ委員の方の参加もあり、預ける側・預かる側との貴重な意見交換も出来ました。開催時間が足りない位いろいろな話題で話し合い、改めてスタッフ同士で集まり交流する大切さを実感しました。



門真ブロック 2/6 (土) ドーンセンター (8名参加)

- コロナ禍における託児の流れや実際の託児について
- 生活クラブのあれこれ (好きな消費材・委員会活動・託児についてなど)
- 折り紙でいろいろ作ってみよう



* コロナ禍の不安等で託児に入っていないスタッフも3名参加していましたので、実際に託児に入ったスタッフの報告と、配布資料の説明、コロナ禍の託児の流れを重点的に話しました。

生活クラブのあれこれでは、加入のきっかけや委員を経験しての感想、託児に関わるきっかけや、関わってみての感想、消費材の好きな物や、チラシ、生活と自治のことなど多岐に渡り、それぞれの思いを話し、聞くことで、交流を深めることができました。

折り紙タイムでは、真剣に折りながらも終始楽しい雰囲気でした。

緊急事態宣言下での開催でしたが、欠席者も出ずに行えた事は、参加者の意識や思い (人と繋がりたい、会いたい、話したい、聞きたい) が行動になると改めて感じました。スタッフの交流は和気あいあいとした雰囲気でもコロナ禍でも対面の良さを感じましたが、対面が難しい場合の発信方法などは考えていかなければいけません。

生活クラブ生協大阪の子育て支援として『託児活動』があり、組合員活動を支える一助ともなっています。一緒に活動してみたいというリーダー・スタッフ募集中! 資格はいりません。子どもが好き! やってみようかな... という方は、ぜひ茨木本部組織運営課: 吉田 (072-641-5547) までご連絡ください。

